

卒業論文の評価方法(平成18年度以降入学者に適用)

2008年6月23日コース会議承認

2008年10月10日改訂コース会議承認

1. 卒業論文の評価項目と評価基準

卒業論文の評価項目は「論文」、「ポスター発表」、「口頭発表」、「研究プロセス」の4項目とし、それぞれの評価基準を以下に示す。ただし、< >は対応するJABEE評価項目を示す。

a. 「論文」の評価基準

以下の細目 a1～a9 が全て満足されている論文を合格とする。

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| a1 論文の表題および構成が適切である | <H(2)> |
| a2 研究の目的および社会的背景が示されている | <A(3)> |
| a3 研究の内容が具体的に示されている | <H(2)> |
| a4 調査・実験・解析等で得られた結果についての考察が示されている | <G(2)> |
| a5 研究で得られた成果が簡潔にまとめられている | <H(2)> |
| a6 文章は用語・文法表現などが適切で、論理的である | <H(2)> |
| a7 図・表が適切である | <H(2)> |
| a8 英文要旨(本文が英文の場合は和文要旨)が添付されている | <I(3)> |
| a9 適切な参考文献が示されている | <F(3)> |

b. 「ポスター発表」の評価基準

細目 b1, b2がともに満足されたものを合格とする。

- | | |
|---------------------------|--------|
| b1: 規格に従った適切なポスターが作成されている | <H(3)> |
| b2: 研究の目的・方法・課題などが説明されている | <H(3)> |

c. 「口頭発表」の評価基準

細目 c1, c2 について、それぞれ 10 点満点で評価する。

- | | |
|---------------------|--------|
| c1 発表技術 | <H(3)> |
| c2 質問に対する理解度と回答の適切さ | <H(4)> |

c1, c2の評点の和を評点 c とし、評点 c が 10 点以上を合格とする。

d. 「研究プロセス」の評価基準

細目 d1～d3について、それぞれ 10 点満点で評価する。

- | | |
|---------------|--------|
| d1: 課題に対する理解度 | <F(4)> |
| d2: 計画性と実行能力 | <F(5)> |
| d3: 取り組みの姿勢 | |

d1, d2, d3 の評点の和を評点 d とする。

2. 評価方法

a. 「論文」の評価方法

指導教員は論文の合否をコース長に報告する。

b. 「ポスター発表」の評価方法

ポスター発表後のコース会議で合否を判定する。ただし、ポスター発表は卒業論文の中間報告として実施するため、内容評価よりも教育的指導に重点をおいて評価する。

c. 「口頭発表」の評価方法

コース長は、コース内の教員3名以上に審査員を委嘱する。審査員は、細目 c1および c2 について、それぞれ 10 点満点で評価し、その結果をコース長に報告する。コース長は報告された結果から細目ごとの評点(審査員評点の平均値)を算定する。

d. 「研究プロセス」の評価方法

指導教員が細目 d1～d3について、それぞれ 10 点満点で評価し、その結果を卒業論文発表会までにコース長に報告する。

3. 卒業論文の評価点と合否判定

評価基準

(ア) 項目 a, b, c の3項目が「合」と認定された場合に卒業論文合格とする。

(イ) 合格の場合の、卒業論文評価点は(50+評点 c+評点 d)とする。

評価方法および評価手順

- ・コース長は、全項目の評価結果および卒業論文評価点の資料をコース会議(卒業判定会議)に提出する。
- ・コース会議(卒業判定会議)では、提出資料に基づいて、以下の認定・判定を行う。
 - 項目ごとの合否あるいは評価点の認定、
 - 卒業論文評価点の認定、
 - 卒業論文の合否判定
- ・コース長は、卒業論文合格者の成績(卒業論文評価点)を教務掛に提出する。

4. JABEE 評価項目の合否判定

JABEE 評価委員会は、項目および細目の評価結果に基づいて、対応する JABEE 評価項目の達成度を評価する。

以上